

筑後川上流総合管理所渇水対策本部の設置について

筑後川上流総合管理所は、本日7月12日（火）13時に「筑後川上流総合管理所渇水対策本部」を設置しました。関係利水者等と水源情報の共有を強化し、適時・的確な渇水対応を行ってまいります。

<渇水対策本部の設置理由>

① 筑後川水系小石原川及び佐田川流域では、昨年10月から今年6月の降水量は平均値の6割程度しかなく、7月に入ってから降水量も非常に少なくなっています。このように降水量が非常に少ない中、農業用水に必要な水をダムから継続的に補給した結果、ダムの貯水量は少ない状態で推移しています。

【7月12日(火)午前0時現在 ミダム(江川、寺内、小石原川の各ダム)】

有効貯水量(貯水率)	うち農業用水分貯水量(貯水率)
29,887千m ³ (44.0%)	4,416千m ³ (30.1%)

② 今後、さらに渇水傾向が続けば、河川流況が改善されず農業用水の確保が厳しくなるため、利水者である両筑土地改良区は、本日7月12日（火）に、農業用水の確保及び節水対策のための「干ばつ対策特別委員会」を設置されました。

③ これを受け、筑後川上流総合管理所に渇水対策本部を設置しました。今後、関係利水者等と水源情報の共有を強化し、迅速かつ的確な渇水対応を行ってまいります。

令和4年7月12日



独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所

配布先

国土交通省九州記者会
九州建設専門記者クラブ
西日本新聞朝倉支局
読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局
朝日新聞太宰府支局



令和4年5月1日
水資源機構は前身の
水資源開発公団の
設立から
60年を迎えました。

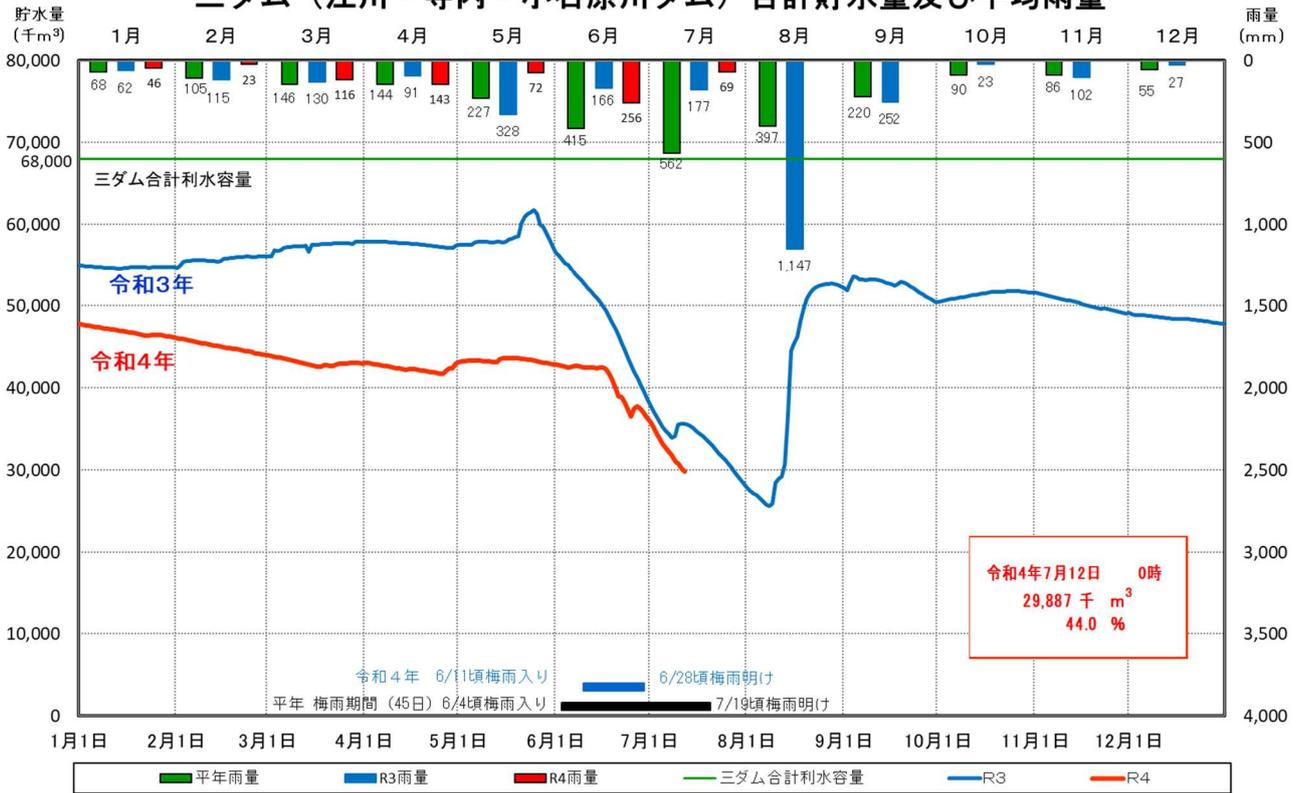
問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所 総務課長 石橋
管理課長 山本

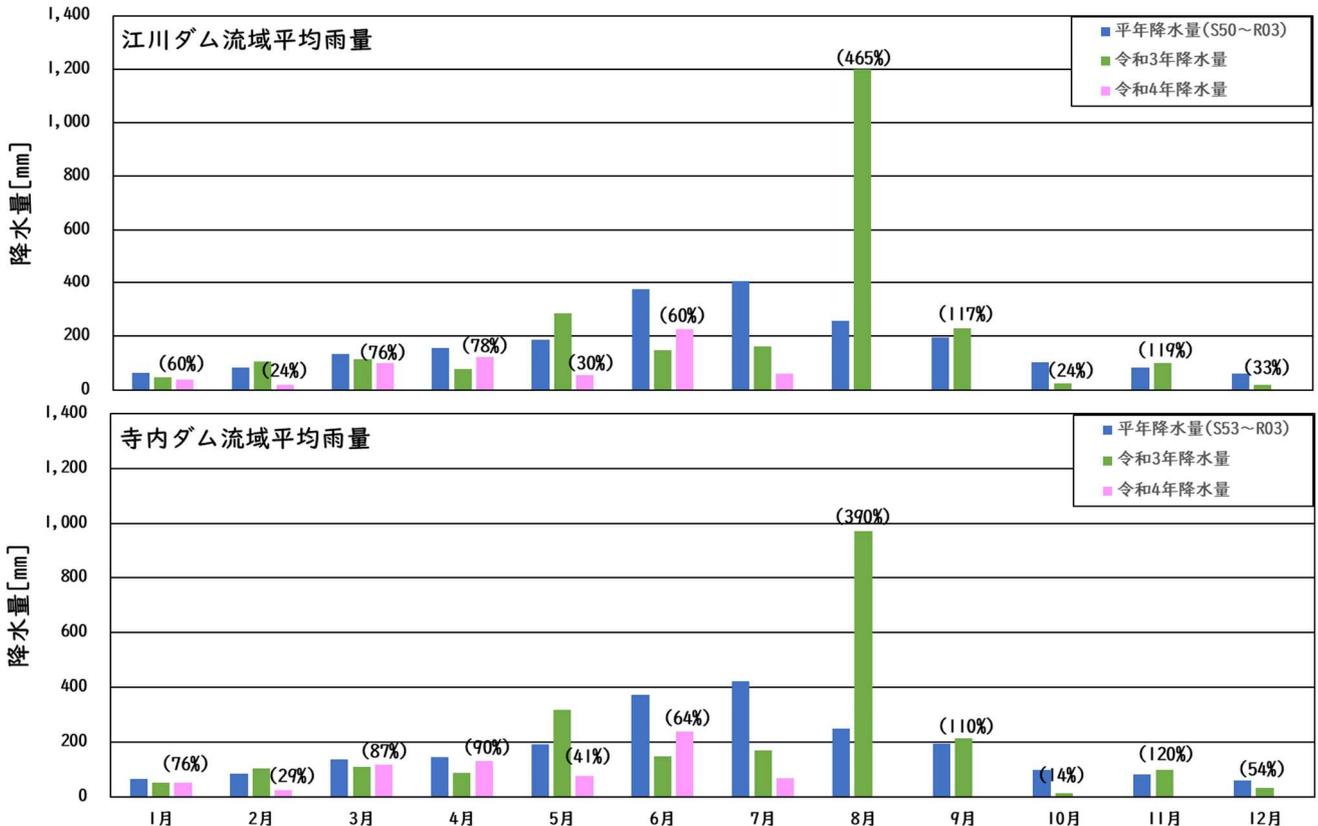
住所：福岡県朝倉市江川1660-67

電話：0946(25)0113

三ダム（江川・寺内・小石原川ダム）合計貯水量及び平均雨量



※小石原川ダムは、令和元年12月14日から試験湛水を開始し、令和3年10月16日から運用。
 なお、試験湛水期間のうち令和3年5月20日から令和3年8月5日にかけて、洪水時最高水位(EL353.0m)から最低水位(EL279.3m)まで約1m/日の速度で水位を低下させ、ダム堤体及び貯水池斜面の安全確認を行った。



※1 小石原川ダム流域は江川ダム流域に含まれるため、平均降水量の比較は省略させていただきます。

※2 ()書きは令和3年8月から令和4年6月の各月の降水量の年平均比を示しています。

※3 令和4年の降水量は、7月11日 24時までのデータを示しています。

三ダム(江川ダム、寺内ダム、小石原川ダム)の貯水池状況

<江川ダム>

令和4年7月12日 0時時点

貯水量 15,674 千 m^3 貯水率 65.3 % 貯水位 標高 214.04 m



江川ダムの貯水率が100%の時の貯水池



令和4年7月12日(貯水率65.4%)の貯水池

<寺内ダム>

令和4年7月12日 0時時点

貯水量 2,798 千 m^3 貯水率 31.1 % 貯水位 標高 107.73 m



寺内ダムの貯水率が100%の時の貯水池



令和4年7月12日(貯水率31.1%)の貯水池

<小石原川ダム>

令和4年7月12日 0時時点

貯水量 11,415 千 m^3 貯水率 32.6 % 貯水位 標高 319.90 m



小石原川ダムの貯水率が100%の時の貯水池



令和4年7月12日(貯水率32.6%)の貯水池